

巻頭言



取締役社長

浜崎 祐司 Yuji Hamasaki

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より「明電時報」をご愛読いただき、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、2015年度に3か年の中期経営計画「V120」をスタートさせました。昨年は「V120」の目標達成に向けた挑戦の年として、3つの基本方針である「国内事業の収益基盤の強化」、「海外事業の成長拡大」、「製品競争力の強化」を基に様々な施策を展開しました。

「国内事業の収益基盤の強化」としては、ICT・IoTの活用による製品競争力やシステム技術の強化、お客様の施設全体を一括して請け負うワンストップサービスの強化などに積極的に取り組みました。また、都市部のインフラ整備、民間製造業や公共部門の設備老朽化対策などの需要を取り込みました。

「海外事業の成長拡大」としては、需要拡大が見込まれるアジアを中心とする新興国の社会インフラに広く参入し、事業を展開しました。また、下水・排水処理用セラミック平膜の販売を強化している中、水不足のために取水制限が厳しく、排水再利用の要求が高い米国カリフォルニア州において、水道局からTitle22の認証を取得しました。強度・耐薬品性に優れ長寿命であるセラミック平膜の特長を生かし、米国をはじめ世界の水環境問題の解決に貢献していきます。

「製品競争力の強化」としては、開発面で、発電、変電・配電、モータ・インバータなどの当社グループのコア製品群である重電製品の価格・性能・品質、独自性などに注力してきた結果、新製品開発の成果が出てきました。今後も更なる特長製品の創出に向けて、基盤技術強化に注力していきます。

以上、2016年における当社の取り組みをご紹介します。

当社グループは、今年創業120周年を迎えました。これからもお客様の視点に立った製品の提供を目指し、更なる技術の研さんに努める所存です。皆様方の引き続きのご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。